

高校日本史プリント (過去問類似)

中世 No.6

名前

得点

/10

問1 16世紀前半、室町幕府の権威が衰退するなか、日明貿易の主導権をめぐる有力守護大名同士の対立が激化した。1523年、明の貿易港において、堺商人と結んだ細川氏と、博多商人と結んだ大内氏が、派遣した勘合船の入港順などをめぐって武力衝突を起こした。この結果、大内氏が明との貿易の実権を独占することとなったが、この衝突事件を何というか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 慶長の役 2. 寧波の乱 3. 文禄の役 4. 三浦の乱

問2 鎌倉幕府の執権北条泰時が、京都の六波羅探題や御家人たちに基準を示すために1232年に制定した、武家社会の慣習法や道理に基づいた最初の武家法は何か。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 武家諸法度 2. 大内氏掟書 3. 六角氏式目 4. 御成敗式目

問3 1543年、ポルトガル人を乗せた中国船が漂着し、日本に初めて鉄砲が伝えられた、領主の時堯がこれを買取ったことで知られる九州南方の島はどこか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 口之津 2. 鹿児島 3. 島原 4. 種子島

問4 南北朝時代から室町時代にかけて、近畿地方などの先進地域において、農民たちが自衛や自治のために結成した自律的な村落共同体を何というか。この共同体では、神社の祭礼を運営する組織が結成され、人々は鎮守の社に集まって寄合を開き、一味同心の結束を誓い合った。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 散村 2. 荘村 3. 惣村 4. 郷村

問5 11世紀後半の東北地方では、前九年の役ののちに勢力を伸ばした出羽国の豪族の間で、一族の家督などをめぐる内紛が発生した。陸奥守であった源義家がこの内紛に介入し、最終的に彼に協力した人物が勝利を収めて奥州藤原氏の祖となった。この一連の戦乱を何というか。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 保元の乱 2. 後三年の役 3. 前九年の役 4. 平治の乱

問6 室町時代の1428年、将軍の代替わりなどを契機として、近江の運送業者の蜂起から始まり、徳政 (債務破棄) を求めて京都やその周辺地域に波及した、日本史上最初の大規模な土一揆は何か。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 播磨の土一揆 2. 嘉吉の土一揆 3. 文正の土一揆 4. 正長の土一揆

問7 鎌倉幕府の5代執権である北条時頼は、幕府の権威を高めるとともに北条氏の執権政治を安定させるため、前将軍の藤原頼経を京都へ送還した。これに代わって、後嵯峨天皇の皇子として鎌倉に迎えられ、最初の皇族将軍となった人物は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 守邦親王 2. 宗尊親王 3. 惟康親王 4. 久明親王

問8 鎌倉時代において、叡尊やその弟子の忍性らは、殺生禁断などの戒律の復興を掲げるとともに、貧民や病者の救済、道路の修築や架橋といった社会事業を精力的に展開した。彼らが属し、戒律の遵守を重視した仏教の宗派は何か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 浄土宗 2. 真宗 3. 時宗 4. 律宗

問9 室町時代に活躍した画僧で、遣明船に同乗して明に渡り、本場の中国画風を学んだ。帰国後、日本の自然景観に即した独自の画風を確立し、『四季山水図巻』や『天橋立図』などの代表作を残した人物は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 雪舟 2. 明兆 3. 周文 4. 如拙

問10 鎌倉時代後期の1285年、得宗専制政治の強化にともない、得宗の私的臣下である御内人の発言力が増大した。このとき、幕政改革を進めようとした有力御家人の安達泰盛を霜月騒動で滅ぼし、実権を握った内管領は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 平政連 2. 平盛綱 3. 平禅門 4. 平頼綱

答え合わせ・解説 No.6

問1	答え 2 寧波の乱	1523年に明の貿易港である寧波で発生したこの武力衝突は、細川氏と大内氏がそれぞれ派遣した遣明船（勘合船）の優先権をめぐる起こった。事件後、大内氏が日明貿易の実権を独占することになったが、明側は管理を強化し、やがて貿易自体が衰退に向かう契機となった。
問2	答え 4 御成敗式目	北条泰時は、承久の乱後に複雑化した土地紛争などを公正に裁判するため、1232年に御成敗式目（貞永式目）を制定した。この法は京都の六波羅探題にも送られ、裁判の基準として活用された。
問3	答え 4 種子島	1543年、ポルトガル人を乗せた中国のジャンク船が九州南方の種子島に漂着した。この際、領主の種子島時堯がポルトガル人から火縄銃を購入したことで、日本に鉄砲とその製造技術が伝来した。この出来事は、のちの戦国時代の戦術や兵農分離、城郭の構造などに決定的な影響を与える契機となった。
問4	答え 3 惣村	南北朝期から室町期にかけて、農民たちが自衛や自治のために結成した共同体を惣村（惣）と呼ぶ。惣村では、鎮守の神社の祭礼を運営する宮座が結成され、寄合を通じて一味同心の結束が図られた。江戸時代の村や、古代の部民などとは異なる中世特有の村落形態である。
問5	答え 2 後三年の役	前九年の役ののち、奥羽地方で最大の勢力となった清原氏の一族内で内紛が生じた。陸奥守として下向していた源義家がこれに介入し、清原氏の一族であった藤原清衡を支援して勝利に導いた。この戦乱を後三年の役と呼び、勝利した清衡は平泉を拠点とする奥州藤原氏の繁栄の基礎を築くこととなった。なお、朝廷はこの戦乱を私戦とみなしたため、源義家には恩賞が与えられなかったが、これがかえって東国武士と源氏の結びつきを強める契機となった。
問6	答え 4 正長の土一揆	室町時代の1428年（正長元年）に、近江の馬借の蜂起をきっかけに発生した土一揆。徳政を要求して京都の土倉や酒屋、寺院などを襲撃し、私徳政が行われるなど近畿一帯に大きな影響を与えた。
問7	答え 2 宗尊親王	5代執権の北条時頼は、反北条勢力が前將軍の藤原頼経を担ぎ上げるのを防ぐために彼を京都へ送還し、1252年に後嵯峨天皇の皇子を將軍として迎えた。これにより、以後の鎌倉將軍は皇族から迎えられる皇族將軍の時代となった。
問8	答え 4 律宗	鎌倉時代には、叡尊や忍性といった僧侶が戒律の復興に努めるとともに、非人救済や架橋・道路整備などの社会事業を積極的に行った。彼らが属した宗派は律宗（真言律宗）であり、奈良の西大寺を拠点として活動を展開した。
問9	答え 1 雪舟	室町時代、禅宗の隆盛に伴い水墨画が発達した。画僧である雪舟は大内氏の支援を得て明に渡り、中国の絵画技法を吸収した。帰国後は日本の自然を写實的に捉えた独自の様式を大成させ、のちの日本絵画に大きな影響を与えた。
問10	答え 4 平頼綱	鎌倉時代後期、北条氏得宗の権力が絶大となる中で、得宗の家臣である御内人の代表（内管領）が幕政で大きな影響力を持つようになった。内管領であった人物は、御家人の地位向上や幕政改革を目指した安達泰盛と対立し、1285年の霜月騒動で彼を滅ぼして専制的な権力を握ったが、のちに得宗北条貞時によって滅ぼされた（平禅門の乱）。